



水泳をがんばっています

今の時期、プールでは子どもたちの元気な歓声が響いています。低学年の子どもたちは、浮いたり、もぐったり、バタ足の練習をしたりと、楽しみながら、水に慣れる運動に取り組んでいます。また、3年生以上の子どもたちは、自分の目標に向かってクロールや平泳ぎの練習に一生懸命です。水泳連盟の穴戸先生の丁寧な指導も加わり、みんな上手になってきました。

小学生のうちに、水泳の楽しさを味わい、泳力を向上させることは、生涯に渡って運動に親しもうとする意欲や態度を培う上で大切なことだと感じます。

7月9日(金曜日)の授業参観は、校内水泳記録会が予定されています。子どもたちが頑張ってきた成果を発揮しますので、どうぞ温かいご声援をお送りください。



【ケーナ教室】

コスキン・エン・ハポン事務局の皆さんのご指導により、ケーナ教室が行われました。例年、4年生を対象に実施していましたが、昨年はコロナ禍の影響で開催できなかったため、今年は、4、5年生がケーナ教室に参加しました。はじめは音がうまく出せなかった子どもたちも、講師の皆さんの丁寧な指導により、全員がケーナの音を響かせることができるようになりました。「上手だね」と褒められると、みんな嬉しそうなお顔をを見せていました。子どもたちは、ケーナを奏でながら、音楽のもつ楽しさを味わっていました。



【前田遺跡の出前授業】

町教育委員会の吉田主任専門員を講師に迎え、前田遺跡の出前講座が行われました。吉田さんは、町内で発掘された前田遺跡について、専門的な視点から分かりやすく話をしてくださいました。子どもたちは、吉田さんの興味深い話に引き込まれ、縄文時代の人々の暮らしや文化に思いをはせていました。また、吉田さんが所有する土器や石器に触れる時間もあり、五感を通した深い学びができました。



【自分たちで育てた繭から】

4、5年生は、福島発電株式会社さんの支援を受け、蚕を育てる学習に取り組んできました。それぞれの子が、一生懸命に育てた蚕は順調に繭になりました。



6月29日(火曜日)。「工房おりをり」の皆さんの指導のもと、昔から伝わる方法で、繭から生糸や真綿を取り出す体験を行いました。繭から、生糸や真綿が生産されることは、事前に学習していましたが、実際に自分で体験をすると、その何倍も理解が深まったようです。

細く透き通る生糸や羽衣のような真綿を目の前にした子どもたちの瞳は、みんな輝いていました。蚕を実際に自分たちの手で育ててきただけに、感動もひとしおの様子でした。